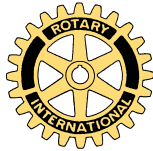


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2024～2025年度 国際ロータリー ステファニー A. アーチック 会長テーマ
THE MAGIC OF ROTARY ロータリーのマジック

創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyac@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 内 藤 昇
幹事 磯 部 一 智
会報委員長 花 井 淳

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3278回例会プログラム

[当年度=37回目；当月=3週目]

2025年（令和7年）6月16日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:10 〈食 事〉
12:28 1. チャイム
12:30 2. 点 鐘 ……〈会 長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……
それこそロータリー
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 会長挨拶並びに会長報告
7. 幹事報告
8. 出席報告
9. 委員会報告
10. ニコニコボックス報告
11. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(6/23) ……クラブ協議会
現理事挨拶
(6/30) ……
夕食例会（親睦活動委員会）
17:30～ホテルクラウンパレス知立

2. クラブ協議会……………〈司会：幹事〉

- 13:00 1. 次年度方針の発表 ……次年度会長
2. 次年度委員会別事業計画の検討 ……次年度幹事
12. 点 鐘……〈会 長〉
13. 閉会宣言
13:30 14. 散 会

ゲ ス ト

新会員予定者 高橋 ^{まさのり}正典 様
^{こういちろう}岡田晃一郎 様

出 席

会員総数 94名 出席免除 23名
出席義務者+免除者の内例会出席者 88名
欠 席 6名 出席率 93.18%
前々回（5/26）の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 5月29日、刈谷市総合文化センター大ホールで行われた刈谷市制施行75周年記念式典へ出席し、刈谷市共同募金委員会様より感謝状、稲垣武刈谷市長様より表彰状を頂きました。

幹 事 報 告

- 1) 6月のロータリーレートは144円になります。
2) 本日例会終了後、当年度および次年度合同理事・役員・委員長会議を大会議室で開催致します。関係の会員はご出席お願い致します。

委 員 会 報 告

● IM 実行委員会

- 1) 2024-25の西三河分区 IM の記録書が出来上がりましたのでご確認をお願いします。

会長あいさつ

内藤 昇



今年度の例会も本日を含めてあと3回になりました。6月30日の最終例会まで気を抜かず勤めていきたいと思います。

6月16日は「スペースインベーダーの日」です。

『スペースインベーダー』(Space Invaders)は、株式会社タイトーが1978年6月16日に発表し、同年8月から稼働を開始したアーケード用固定画面シューティングゲームです。

本作は日本のアーケード史上最大のヒット作であり、タイトーによる純正品が約10万台、許諾先メーカーからのものが約10万台、許諾なしのコピー品が約30万台出荷されたと推定されており、ブームとなった1年半足らずの間に計50万台が日本中に出回ったそうです。

2018年、発売から40周年を迎えた年に、タイトーは本作を発表会で初御披露目した6月16日を『スペースインベーダーの日』に制定、日本記念日協会に正式に認定されました。

開発者は太東貿易(現・タイトー)の子会社、パシフィック工業の社員だった西角友宏。西角は同社の『スピードレース』(1974年)や『ウェスタンガン』(1975年)の制作を手掛けており、『ウェスタンガン』のライセンス許諾版であるセガの『ガンファイト』に、CPU付きの基板が使用されていたことに着目し、将来的にゲームはプログラムによって制作される様になると予測。独学で本作のプログラムを手掛けることとなった。結果として本作は「日本において初めてCPUを使用したゲーム」となりました。

1979年2月19日にNHKで放送された『スタジオ102』内のコーナー「過熱!! テレビ・ゲーム業界」では熱狂的ブームとなっている原因が取り上げられたほか、同年3月4日にTBSで放送された『話題の演出者』では「卓上大戦争!! インベーダー異常発生」と題して、アイ・ジョージや太田裕美などの芸能人の熱中ぶりが伝えられました。

こうして国民が一丸となってインベーダーゲームに金を使うようになったことで、その軍資金となる100円玉が枯渇し、日本銀行は急遽月の3倍にあたる66億円もの100円玉を市中に流したそうです。

当時タイトー新入社員のボーナスが100万円だったという都市伝説があるが、当時はゲーム開発者への報奨金は確立されておらず、開発者の西角は社長賞として約10万円を表彰台で貰っただけだったそうです。

集金袋を回収するのにライトバンでは間に合わず、4トントラックで回収を行っていました。しかしその4トントラックですら板バネサスペンションが100円玉の重みに耐えきれずに曲がる事故が頻発していたそうです。

またパチンコ業界は全国的に客の入りが悪くなり、1979年におけるパチンコホール軒数は9,961店舗と1万

軒を割り込みました。パチンコ台メーカーは苦肉の策で「電役」の導入といったコンピュータ化に乗り出したものの人気は得られず、この状況は1980年の『フィーバー』の登場まで続いたそうです。

プレイヤーが上達するにつれて長時間プレイが可能になり、そのうちに高得点を目指すプレイヤーによって攻略が進められました。その結果、攻略の元祖とも呼ばれる「名古屋撃ち」が生まれ、バグの一種である「レインボー」が発見されました。開発者の西角は「名古屋撃ち」という攻略法があることを知った当時「ショックだった」と語っています。

大学に入学したばかりの18歳の私も周りの友達も熱中し、喫茶店のテーブルに100円玉を積み上げて、手が痛くなるぐらいやりこみました。懐かしいです。

日本でのブームが過ぎた頃、当時アメリカ合衆国のカリフォルニア大学バークレー校の学生だった孫正義氏は、日本で余剰となったゲーム機をアメリカに持ち込んで現地のレストラン等にリースするビジネスを始めたそうです。孫が持ち込んだゲーム機は合計350台、半年間で1億円を超える儲けを得たそうです。

次年度方針の発表

会長所信および運営方針

2025～26年度会長 近藤 純子



ご縁を頂き、2015年5月25日に伝統と格式のある刈谷ロータリークラブに入会させて頂きました。それから早10年経ちますが、いまだ、「ロータリーとは、何物ぞ?そして何故自分はここにいるのか?」を問いながら、学ばせていただいている駆け出しのロータリアンです。そんな私が、畏れ多くも第72代会長を務めさせていただくこととなり、その重大さと責任の重さで震える思いであります。

国際ロータリーからのメッセージは、「よいことのために手を取り合おう」です。人と人とのつながりがもたらすパワーを活かして、新会員を増やし、奉仕プロジェクトで協力し、世界的なインパクトをもたらしながら、前向きな変化を生み出していこうと呼びかけられています。

そして、鈴木康仁2760地区ガバナーからは、ポリオ根絶に力を注ぐ1年にしていく旨の方針が出されております。

RIからのメッセージを受け、今年度の刈谷ロータリークラブのスローガンを「よいことのために手を取り合おう～みんなの笑顔のために～」とさせて頂きました。

すべての活動は、それを受け取ってくださる方々の笑顔のためにあると思っています。そしてその笑顔は、奉仕をする人のうれしさや成長につながります。また笑顔が伝播していけば、会員が増えることにもつながっていくと思います。

人と人とのつながりを大切にして、よりよい奉仕活動が出来るよう、楽しく共に学びながら継続的に成長していくことが出来るよう、活動をしてまいりましょう。

理事・役員・委員長を務めてくださる方々のお力を借りながら、一生懸命務めてまいりますので、どうか会員のみなさまの温かいご指導・ご支援・ご協力を賜れますよう、こころよりお願い申し上げます。



[主な運営方針]

- ・ロータリーの基本理念「四つのテスト」をこころに、奉仕の理念を实践する
- ・会員間の親睦が図れる、充実した楽しい例会の開催
- ・ポリオ根絶活動への協力
- ・会員増強と維持
- ・ロータリー財団、米山記念奨学会への寄付協力
- ・地区補助金を活用した社会奉仕事業の実施（ひかりの家）
- ・米山奨学生の受け入れ
- ・マイロータリーの活用



当年度および次年度合同理事・役員・委員長会議次第

- I 会長挨拶 〈会 長〉
- II 次年度会長挨拶 〈次年度会長〉
- III 当年度議題
1. 年次報告書について 〈幹 事〉
2. その他
- IV 次年度議題
1. RI会長について 〈次年度会長〉
2. 7月のプログラム（案）について
〈次年度クラブ奉仕委員長〉
〈次年度プログラム委員長〉
3. 報道関係者との懇談会について
〈次年度公共イメージ向上委員長〉
4. その他
- V 当年度事業報告及び次年度引継ぎ
- VI 会場監督の所見 〈会場監督〉